

令和5年度 事業報告

I. 事業報告書

1 概況

ここ数年にわたる新型コロナウイルス感染症の流行に伴い、世界規模で社会・経済活動が抑制され、当センターの会員数も令和元年度末時点で3,121人であったものが令和4年度末時点では2,786人まで減少するなど、様々な形での影響を受けてまいりました。

しかしながら、令和5年5月からは従前2類相当とされていた新型コロナウイルス感染症が「5類感染症」へとその位置づけを変えたことなどをきっかけとして、社会全体が従前の活動を取り戻しつつあり、会員数も令和5年度末時点で2,843人まで復調するとともに、事業実績においても、契約金額の総計で13億9,308万円ほどとなり、令和4年度に比べ、率にして6.0%の増となりました。要因としては、各会員のご尽力と合わせて、令和5年10月から開始されたインボイス制度に伴い事務費率を上げたことによる影響も大きく、同時に配分金に対する消費税の負担など支出額も大幅に増加している状況です。

他方、シルバー人材センターの事業実績や事業規模を全国レベルで長期的に俯瞰してみると、ここ数十年来その会員数や事業規模において横ばいもしくは微減となっている現状があります。本来であれば急速に進む高齢化の不可逆的な状況を背景としてその役割は益々重要性を増すべきものであり、当センターの業態も社会状況の変化の中で期待される形に変化させていく必要があります。こうしたことから、令和5年度は他センターの事業活動など様々な情報収集に努め、新たな就業形態について研究を重ねて参りました。

また、会員の声にしっかりと耳を傾けて、そのニーズの把握に努めるとともに、様々な現実的な事情や実態、運営上の課題などをわかりやすく会員の皆様方にもお伝えしていくことが大切になります。令和5年度においては、理事によるさわやか相談事業を再開するなど、会員同士の顔が見える関係づくりに努めました。

2 事業実施状況

(1) 就業の状況と就業開拓

令和5年度の当センターの契約金額全体の公民比率は64:36となっており、近年、公共部門は堅調に推移しているものの、民間部門はその構成比率が年々減少しています。そのため、当センターは、役員、会員及び事務局職員が就業先の維持・拡大及び新規開拓に向けて、引き続き以下のように取り組みました。

① 発注者訪問・就業開拓

毎年、全理事による発注者訪問を実施し、発注量や職種の維持・拡大の要請、就業会員の評価や要望事項等の聞き取りを行い、改善を図ってきました。しかし、令和5年度においても新型コロナやインフルエンザの感染状況を踏まえ、未実施となりました。

② 公共事業及び指定管理者事業

地方自治法に基づく「政策目的随意契約」の対象団体である当センターは、世田谷区と連携して政策目的に適った受注確保に努めています。

区立自転車等駐車場やレンタサイクルポートは、平成28年度から5年間の第4次指定管理者の指定に引き続き、令和3年度から5年間の第5次指定管理者となり、自転車等駐車場54か所、レンタサイクルポート7か所の合計61か所を管理し、延439人の会員が就業しました。契約金額は、当センター全体の44.5%を占める6億2,044万円になりました。

③ 民間事業と家事援助サービス

近年の傾向として、民間事業については受注件数が減少し、一部の企業などを除くと、相対的に小規模かつ不規則な受注が多い状況となっています。

家事援助サービスでは、会員コーディネーターが会員の円滑な就業に努めた結果、近年のコロナ禍による受注の落ち込みから好転しました。令和5年度は228人の会員により年間3,714件の契約実績で、前年度比304件の増となりました。また、65歳以上の高齢者世帯向けの「あったかサポート」事業では、家具等の移動、買い物、電球の取替えなど、令和5年度実績は46件で、前年度比12件の減となりました。

なお、平成27年1月より実施した「支えあいサービス」の令和5年度契約実績は389件となり、前年度に比べ20件の減となりました。引き続き世田谷区や世田谷区社会福祉協議会との連携強化を図ってまいります。

④ 独自事業

会員の優れた技術や経験を活かした当センターの独自事業は、情報化に対応したパソコン教室、趣味活動のカルチャー教室を展開しました。また、児童生徒の学習教室は令和4年度に引き続き休止となりましたが、夏期講習のみ開催しました。独自事業全体の事業実績は前年度に比べ77%の増となりました。

⑤ 仕事別グループ

当センターでは、事業運営の効率化や会員相互の連帯感等の強化をめざし、仕事別グループを認定して、グループによる自己完結的な仕事の推進を図っています。植木剪定、除草、家事援助、パソコン教室などのグループが、受注受付やグループ内の連絡調整などを積極的に図り、就業実績や成果の向上につなげています。また、自転車等駐車場・レンタサイクルグループについては、指定管理者制度に基づき、世田谷区との連絡・調整、契約・精算の他、自転車管理センターが主体となり会員間の相互調整や研修等を自主的に行っています。

なお、仕事別グループ交流会議は未開催となりましたが、各グループではリーダー会議や全体会を開催し、安全就業や事業拡大への取組につなげました。

(2) 就業改善の推進

① 4回ルールの徹底、ワークシェアリングの推進を図りました。

② 未就業会員の意向調査

総務部会では令和5年度も、令和5年9月まで入会した会員のうち、令和5年4月から10月までの未就業者886人を対象に、就業に関する意向調査を実施しました。就業ができると回答いただいた会員には、個別の状況により就業機会を優先的に提供し就業率の向上につなげました。

③ さわやか相談窓口と事務局相談による就業促進

毎月第1月曜日(原則)に開設している「さわやか相談窓口」は、理事が交代で会員からのさまざまな相談を受ける窓口です。新型コロナの影響により実施を見合わせていました

が、令和5年9月より再開し、令和5年度は8人の相談を受けました。なお、事務局窓口では平日の業務時間内に就業に関する会員の相談を受けており、いずれも会員の就業支援・促進の役割を担っています。

(3) 安全就業の徹底

安全就業は就業継続の前提条件であり、当センター事業運営においての最優先事項になっています。

当センターの「安全就業推進計画」に基づき、広報誌「シルバーせたがや」による意識啓発を行うとともに、安全委員会委員による安全就業強化月間（7月）のパトロールでは、転倒防止や熱中症対策、その他安全に関する注意喚起のため、実態調査を実施しました。

また近年の傷害事故とりわけ自転車事故や転倒事故の増加に伴い、安全はすべてに優先することを主眼として、「自転車シミュレーター講習会」を開催しました。さらに緊急時の対応に備えて、施設管理などのAEDが設置されている就業先の会員を対象に「AEDの使い方・救命救急勉強会」も開催しました。

都連合や第4ブロック（港区、品川区、目黒区、大田区、世田谷区、渋谷区の各シルバー）共同で実施する研修参加などにより、安全就業への意識高揚を図るなど安全対策を実施しました。

(4) 社会奉仕活動

公益法人改革により、当センターの事業目的に社会奉仕活動の実施が追加されたことに伴い、より一層の社会貢献が期待されています。

当センターでは、例年、たまがわ花火大会翌日の河川敷清掃や東京マラソン祭りの応援ボランティア、ボランティア協会等との連携による社会奉仕活動を実施しています。また、地域組織の各組では、自主的に地元町会や警察等のボランティア活動に加わるなど、15の組で21日間にわたり延168人の会員が地域の清掃など、さまざまな社会奉仕活動を行い地域の区民の方々との連携が進んできています。

また、平成26年5月より用賀ワークプラザ2階に開設した高齢者区民向け「あったかサロン」事業は、週2回の開催、参加費1回100円で茶菓を提供し、楽しくおしゃべりをさせていただくとともに時節に合った催し物を開催し、高齢者の孤独の解消を図ろうとするものです。

令和2年度より新型コロナ対策に伴い休止していましたが、令和4年11月より規模を縮小した形式（週1回の開催、参加費無料、茶菓の提供なし）で再開し、令和5年度は、計48日開催、延249名の高齢者が利用されました。センター会員ボランティア登録者は38人となっており、ボランティア会員の献身的な協力で運営されました。なお、令和6年4月から新たに三軒茶屋にある産業プラザ3階の小会議室にもサロンを展開（月1回の開催、参加費無料、茶菓の提供なし）することが決定し、その準備に奮闘しました。引き続き拡充・拡大を目指します。

(5) 人材育成及び研修

当センターの仕事の評価は、仕事の完成度、会員の技能、モラルやマナーなどに大きく左右されます。公共事業に限らず、企業や家庭の就業でも、発注者はより質の高いサービスをセンター会員に求めてきています。

指定管理者事業の就業会員全員に対する接遇研修、家事援助サービスでの研修やコーディネーターの指導等のほか、会員全員を対象にした入会時研修、3年次研修に加えて、班長研修、組長研修、仕事別グループによる技能研修、都連合や第4ブロックでの共同研修など、会員の経験や役割に応じた研修で動機づけを図りながら、技能やマナーの向上に向けた人材育成に取り組みました。

令和5年度 研修実施状況

区 分	研 修 内 容 (主催・実施場所等)	期 日 ・ 参 加 人 員
入会時研修	入会説明会 (入会希望者対象)	個別説明会・オンライン説明会 入会者 延346人
	出張説明会等 (入会希望者対象)	年5回 入会者 延55人
技 能 研 修	就業支援講習 (植木の剪定・毛筆筆耕・家事援助・接遇等) (都連合)	年間 33人15日
	「指定管理者事業」 自転車等駐車場 防災訓練	12月5日 (午前・午後) (2回32人)
	〃 〃 新規就業者研修	年 間 (12回43人)
	〃 〃 救命救急研修	11月15、16日 (20人2日)
	〃 〃 リーダー研修	5月19日 (23人1日)
	〃 〃 サブリーダー研修	5月23日 (51人1日)
	〃 〃 新入就業者研修	7月27日 (9人1日)
	〃 〃 中堅就業者研修	8月24、28日 (48人2日)
	〃 〃 ベテラン就業者研修	9月21、22、28、29日 (137人4日)
会 員 研 修	〃 レンタサイクルポート コミュニティサイクルシステム管理者研修	7月24日 (16人1日)
	家事援助サービス就業会員研修 (新入研修)	年12回 (延67人)
	支えあいサービス活動前研修 (登録会員向け)	年5回 (延16人)
	支えあいサービスフォローアップ研修 (就業中会員向け)	年1回 (延6人)
	危険予知活動 (都連合)	8月30日 (2人1日)
	除草就業会員研修 (新入研修会)	年11回 (延49人)
職 員	一般会員研修 3年次研修	7月18日 11月22日 (2回53人)
	組の「地域活動懇談会」講習会 (防犯・防災・福祉等)	6月～2月 (延366人)
	新任職員研修、課題改善 (主事・主任)、福祉・家事援助サービス事業担当者交流会、人権・非行防止・個人情報保護、クレーム対応 (ハードクレーム)、就業開拓勉強会、シルバー保険事故対応力向上研修会、経営管理、交通安全講習、メンタルヘルス研修、決算実務、中堅職員研修、就業開拓勉強会フォローアップ等、実務担当者会議 (会計・経理)、昇任選考研修、公益法人会計の基礎、経営管理～リスクマネジメント～ 【オンライン研修】 シルバー事業情報交換会議、課題改善 (主事・主任) 会員拡大・就業開拓担当者会議	年32回 (延65人)
	交通安全、普通救命講習 (AED 含)、実務担当者研修「植木実務」 (第4ブロック) 等	年4回 (延26人)

(注) 研修内容 (主催・実施場所等) の欄における () 内の表示は、

(都連合) 公益財団法人東京しごと財団、
(第4ブロック) 港区、品川区、目黒区、大田区、世田谷区、渋谷区シルバー人材センター共同実施。
それ以外は、当センターが企画・実施した研修。

(6) 広報・調査活動

- ① これまで当センターでは、事業の普及啓発や会員募集に役立てるため、各種ポスター・リーフレット類を作成し、区民まつりをはじめ区内イベント等でのPR活動を実施するとともに、協力者宅にポスターを掲示してきました。

コロナ禍ではイベントへの参加やPR活動を一部休止しておりましたが、令和5年度は区民まつり等のイベントにも参加しPR活動を行いました。また、会員募集のため、現状実施しているLINE広告等に加えFacebook・Instagramへの広告掲載等も実施しました。

会員向け広報誌「シルバーせたがや」についても、通常どおり四半期ごとに年4回発行し、事業の進捗状況の報告や各部会・委員会の情報、会員の就業情報など、会員が求める情報を発信できるよう努めてまいりました。

- ② サービス満足度調査等の実施

家事援助・育児支援サービスを継続してご利用いただいている約350件の発注者に対しては、翌年度の意向確認やアンケート調査を実施しました。その結果、作業内容では75%、会員の態度では82%の発注者からそれぞれ「良かった」という回答が寄せられました。除草グループでも同様のアンケートを2回実施し、作業内容では1回目93%、2回目96%、会員の態度では1回目95%、2回目90%の発注者からそれぞれ「良かった」という回答が寄せられています。今後もより良い評価の維持に努めてまいります。

令和5年度 広報実施状況

区 分		説 明	実施内容
印刷物による広報	広報誌「シルバーせたがや」の発行	会員への各種情報提供と一般区民向けの情報誌として、各種調査報告やセンター事業紹介、安全就業の呼びかけ等を掲載。また、安全標語の募集等各種のチラシのはさみ込みを行い、情報提供の拡大を図った。	年4回 発行 1回 4,000部
	リーフレット等の作成・配布	リーフレットは、一般区民向け及び入会希望者向けに作成し、新たな就業開拓活動等にも活用。	随時
	区広報の活用	センターへの理解と協力を広く区民にPRした。	年1回
ポスター掲示等		協力を得られた区民、役員、地域組長、及び地域班長等の自宅の塀や生垣等へもPR用ポスターを引き続き掲示した。	年間
資料の提供		会員への情報・資料等の提供をはじめ、関係機関等への情報提供を行った。また、ホームページの内容の充実を図り、随時更新を行うことによりタイムリーな情報を広く提供した。	随時
広告		公共機関への広告掲載やLINE広告、新聞折込等を実施した。	随時

(7) 理事会の活性化・組織活動の充実

平成23年4月の公益法人改革により理事会や役員の権限・責任が強化され、役員の一体性・機動性が期待されています。

理事会の役割や活動が重要となる中で、令和3年度には部会、委員会を再編成し、総務部会、地域組織・会員部会、広報・広聴部会、安全委員会と従来の部会、委員会を集約し、よ

り迅速かつ円滑に決定を行えるようにしました。3つの部会では特定事項の調査分析・検討を行い迅速かつ円滑な決定を行うとともに、安全委員会では近年の会員による傷害事故・賠償事故の発生に伴いさまざまな啓発活動を実施しました。

3 会 員

令和5年度中の入会者数は401人（男231人、女170人）、退会者数は344人（男207人、女137人）となり、令和5年度末の会員数は2,843人（男1,885人、女958人）となりました。

なお、入会者数401人の内訳は、宮坂本部での集合形式316人、個別形式15人、オンライン形式15人、出張説明会55人となりました。

また、会員の平均年齢は76.6歳、最高齢は95歳、最も会員数の多い年代は75～79歳代が32.5%、次いで80歳以上が30.1%、となっています。

4 仕事の提供（受託事業及び独自事業）

（1）受託件数

総受託件数は18,881件で、前年度に比べ539件減少しました。

発注者別に見ると、公共事業は114件増の1,989件、民間事業は653件減の16,892件となりました。なお、民間事業の内訳は、企業等が582件減の4,525件、家庭が73件減の12,342件、その他独自事業が2件増の25件となりました。

（2）契約金額

契約金の総額は13億9,308万円で、前年度に比べ6.0%、金額で7,838万円の増となりました。発注者別では、公共事業が7.6%増の8億9,420万円（構成比64%）、民間事業が3.1%増の4億9,888万円（構成比36%）となりました。

（3）配分金

配分金の総額は10億3,082万円で、前年度に比べ3.2%、金額で3,184万円の増となりました。発注者別では、公共事業が5.3%増の5億8,765万円（構成比57%）、民間事業が0.6%増の4億4,317万円（構成比43%）となりました。

（4）就業人員及び就業率

令和5年度中に1回以上就業した会員（就業実人員）は2,050人、前年度に比べ214人の減となりました。また、就業率は72.1%と前年度に比べ9.2ポイントの減となり、目標値の81%には達しませんでした。

今後も、さらなる就業拡大のため、会員の確保、仕事の開拓、ワークシェアリングの推進に努めていきます。

5 附属明細書

令和5年度事業報告に、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条

第3項に規定する「事業報告の内容を補足する重要な事項」はありませんでした。

6 令和5年度 会議開催状況

定 時 総 会

開 催 日	主 な 会 議 内 容
令和5年 6月16日	会 場：成城ホール（砧区民会館） 時 間：午後1時30分～ 出席者：会員総数2,736名中83名 他に委任状提出及び議決権行使書提出者1,683名 合計1,766名 ○議 事 第1号議案 令和4年度 公益社団法人 世田谷区シルバー人材センター 決算・監査報告 第2号議案 公益社団法人 世田谷区シルバー人材センター 理事・監事の選任 ○報告事項 (1) 令和4年度 事業報告 (2) 令和5年度 事業計画 (3) 令和5年度 収支予算 ○ 議長に衣笠俊一会員が選任され、議事を進めた。 ○ 報告事項(1)及び議案1について小湊常務理事より資料による説明がされたあと、 市野監事より監査報告があった。 質疑応答ともになく満場一致で原案通り承認された。 ○ 議案2について小湊常務理事より資料による説明がなされ、満場一致で原案通り承認 された。 ○ 報告事項(2)、(3)について小湊常務理事より報告された。

理 事 会

回	開催日	議 題 等
第1回	4月27日	(審議事項) 1 入会について 2 令和4年度 事業報告(案)について 3 令和4年度 決算(案)について 監査報告について 4 令和4年度 会員表彰者の決定について 5 理事・監事候補者の決定について (報告事項) 1 会員の退会について 2 事業実施状況報告 3 部会・委員会報告 4 事務局報告
第2回	5月8日	(審議事項)

回	開催日	議 題 等
		1 理事・監事候補者の決定について
第3回	5月29日	(審議事項) 1 入会について (報告事項) 1 会員の退会について 2 事業実施状況報告 3 部会・委員会報告 4 事務局報告
第4回	6月16日	(審議事項) 1 新役員の役割決定について
第5回	6月28日	(審議事項) 1 入会について (報告事項) 1 会員の退会について 2 事業実施状況報告 3 部会・委員会報告 4 事務局報告
第6回	7月28日	(審議事項) 1 入会について 2 8月入会申込者のみなし決議の実施について (報告事項) 1 会員の退会について 2 事業実施状況報告 3 部会・委員会報告 4 事務局報告
臨時	8月28日 みなし決議	(審議事項) 1 入会承認について
第7回	9月28日	(審議事項) 1 入会について 2 役員の報酬等に関する規程の改正について (報告事項) 1 会員の退会について 2 事業実施状況報告 3 部会・委員会報告 4 事務局報告
第8回	10月27日	(審議事項)

回	開催日	議 題 等
		1 入会について (報告事項) 1 会員の退会について 2 事業実施状況報告 3 部会・委員会報告 4 事務局報告
第9回	11月27日	(審議事項) 1 入会について (報告事項) 1 会員の退会について 2 事業実施状況報告 3 代表理事・執行理事の職務執行状況報告 4 部会・委員会報告 5 事務局報告
第10回	12月27日	(審議事項) 1 入会について 2 令和5年度 職員給与等の改正について (報告事項) 1 会員の退会について 2 事業実施状況報告 3 部会・委員会報告 4 事務局報告
第11回	1月29日	(審議事項) 1 入会について 2 財務規程の改正について 3 役員賠償責任保険の加入について (報告事項) 1 会員の退会について 2 事業実施状況報告 3 部会・委員会報告 4 事務局報告
第12回	2月26日	(審議事項) 1 入会について (報告事項) 1 会員の退会について 2 業務委託契約書の年間総額誤記載に伴う対応について 3 事業実施状況報告

回	開催日	議 題 等
		4 部会・委員会報告 5 事務局報告
第 13 回	3 月 27 日	(審議事項) 1 入会について 2 令和 6 年度 事業計画(案)について 3 令和 6 年度 予算(案)について 4 補正予算について 5 職員就業規則等の改正について 6 事務局長の解任及び選任について 7 次期 (R8 年 4 月から R13 年 3 月) 指定管理者 (自転車等駐車場) について (報告事項) 1 会員の退会について 2 令和 5・6 年度理事・監事の就業について 3 事業実施状況報告 4 代表理事・業務執行理事の職務執行状況報告 5 部会・委員会報告 6 事務局報告

- (7) 総 務 部 会 (11 回)
- (イ) 地域組織・会員部会 (11 回)
- (ウ) 広 報 ・ 広 聴 部 会 (11 回)
- (エ) 安 全 委 員 会 (6 回)